

令和 6 年亀岡市議会定例会 9 月議会一般質問

亀岡市議会

令和6年亀岡市議会定例会9月議会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者		質問方式
9月10日(火)	10:00～	個人	1 西口 純生	一問一答
	10:45～		2 齊藤 一義	一問一答
			休憩	
	13:00～		3 山木 裕也	一問一答
	13:45～		4 三上 泉	一問一答
			休憩	
	14:45～		5 山本 由美子	一問一答
9月11日(水)	10:00～	個人	6 土岐 新	一問一答
	10:45～		7 福井 英昭	一問一答
			休憩	
	13:00～		8 平本 英久	一問一答
	13:45～		9 原野 実生子	一問一答
			休憩	
	14:45～		10 大西 陽春	一問一答
	15:30～		11 富谷 加都子	一問一答
9月12日(木)	10:00～	個人	12 竹内 博士	一問一答
	10:45～		13 法貴 隆司	一問一答
			休憩	
	13:00～		14 大塚 建彦	一問一答
	13:45～		15 木村 勲	一問一答
			休憩	
	14:45～		16 片山 輝夫	一問一答
	15:30～		17 林 徹司	一問一答
9月13日(金)	10:00～	個人	18 小川 克己	一問一答
	10:45～		19 梅本 靖博	一問一答
			休憩	
	13:00～		20 小林 仁	一問一答
	13:45～		21 大石 慶明	一問一答
			休憩	
	14:45～		22 松山 雅行	一問一答

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

令和6年亀岡市議会定例会9月議会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	西口 純生 9月10日(火) 10:00～ ※一問一答	1 川の道・新時代への挑戦について	全国都市緑化フェア i n 京都丹波の開催に向け、亀岡市ゆかりの先人である角倉了以の「川の道・新時代への挑戦」として、取組を進めていけないか見解を求めたい。 (1) J R 亀岡駅北にある京都スタジアムの当初建設予定地が、全国都市緑化フェア i n 京都丹波の主会場予定地だと聞いているが、間違いないか。 (2) この周辺には、天然記念物のアユモドキが産卵・棲息している。一方で、亀岡市では、有機農業の推進に向けて2023年2月にオーガニックビレッジ宣言が行われているが、この地域においては、アユモドキと共生しながら取組を推進していくという考えなのか。 (3) アユモドキの保全、有機農業の推進を共生させるのであれば、一つの提案として、主会場予定地の中の公園に、アユモドキが安全に産卵・棲息できる、保津川に見立てた小さな川を造成してはどうか。 (4) (3) の小さな川は、安心してアユモドキが棲息できる環境「アユモドキの楽園 京都・丹波」として造成し、化学肥料や農薬の汚染のおそれがある農業用水は使用せず、上流で汲み上げた地下水だけを利用し、産卵から仔魚の成長を見守り、繁殖へとつないでいく。自然な形で整備された河川の中で、アユモドキを大きく成長させる共生の取組として、挑戦すべきであると考えているが、所見は。 (5) 天然記念物とオーガニックビレッジが共生する会場には、来訪者をもてなす「迎賓館のような施設」も必要だと考える。そこに、亀岡市ゆかりの石門心学の祖、石田梅岩先生や地元文化の巨匠・円山応挙画伯、葛飾北斎画伯など、世に知られる文化人とのつながりなどを紹介できる交流の場があれば、亀岡市の知名度向上に大きく貢献できると考えるが、市長の見解は。 (6) 先進的な環境施策とまちづくりを共生させている亀岡市をPRするため、全国都市緑化フェア主会場の入り口に「世界に誇れる環境先進都市・亀岡市」の大看板を設置し、100万人の来訪者に知ってもらうことで、亀岡市の知名度向上を図ってはどうか。	市長 所管部長
		2 希少種・白すみのくらにつ	希少種「白すみのくら」について問う。 (1) 全国都市緑化フェア i n 京都丹波の開催が	市長 所管部長

		いて	秋となれば、緑や花の開花にも限界がある。3月頃に花開く「白すみのくら」は、角倉素庵が発見者と伝えられている。元和・寛永時代に安楽庵策伝が編纂した「百椿集」や「剪花翁伝」でも紹介され、造成した保津川に見立てた小さな川べりに、珍しい八重の白い花びらで可憐な「白すみのくら」が咲く散策道ができれば、亀岡市の新名所となるのではないか。歴史的な観点からも亀岡市の活性化を図るために、由緒ある角倉家にゆかりのある花が咲き乱れる名所づくりをしてはどうか。	
2	齊藤 一義 9月10日(火) 10:45～ ※一問一答	1 財源確保と歳出削減について 2 本市のまちづくりについて	本市職員は、市民福祉の増進のため日々御努力されているが、すばらしい地方公務員を地方公務員が選び表彰する「地方公務員アワード」で選出されたスーパー公務員の実績を参考に質問する。豊田市は「いかに紙を無くすか」を目指したトヨタ自動車の教えを生かし、ペーパーレス化で歳出削減をしている。 (1) 紙は悪とし、「いかにカネをかけずに」をモットーにペーパーレス化を実施した。その改善効果等を庁舎内メールマガジンで配信しているが、そういった取組を実施する考えは。 近年、水道管の老朽化等で水道管破損や漏水被害が出ている。 (2) 本市での水道管破損や漏水被害数は。 (3) 耐用年数40年を超えた水道管は全体の何パーセントか。 (4) 本市の水道管更新に係る日数や試算は。 (5) 豊田市を参考に、人工衛星のAIを活用して、劣化状況と漏水確率を診断し、適切なメンテナンスをしてはどうか。 大手不動産業者による北海道の「街の住みこち」ランキングで、2年連続1位、約30年間にわたり人口増の「人も企業も呼び込む」北海道東川町を参考に質問する。 東川町は景観条例を制定し、町営分譲団地を購入した町民と建設緑化協定を結び、町のランドデザインを明確に発信している。 (1) 亀岡市に東川モデルの市分譲団地を造るか、または、既存集落の民間分譲地に建設緑化協定制度を設けてはどうか。 本市のふるさと納税は非常に好調であるが恒久的財源でないため、他に補完できる収入の確保が必要と考える。 (2) 東川町は公設民営で酒蔵を建設している。本市としては、公設民営でジビエセンターや陸上養殖等を建設し、財源を生みだすことに取り組んでどうか。 (3) 稼働率の少ない亀岡運動公園グリーンハウスをリニューアルし、より収益の増す宿泊施	市長 所管部長 市長 所管部長

			設にしてはどうか。 (4) 東川町では、産業振興として、I Cポイントカード「HUC (フック)」が流通している。亀岡版HUCを創設し、商店街振興に努めるとともに、今後増えると思われるキャンバスゲート株式会社の外国人労働者や京都先端科学大学留学生にHUCのポイントを無償で贈呈するなどの定住策を講じて、労働力不足の解消を図ってはどうか。 東川町は2050年の二酸化炭素排出量実質ゼロを目指し「ゼロカーボンに取り組む適疎な町宣言」をしている。亀岡市も環境先進都市を目指しさらなる取組が必要と考える。 (5) 亀岡市森林組合のプロセッサから出る間伐材や剪定枝、また、河川、農道の草刈り後の草、家畜ふん尿、生ごみ等を炭素化し、Jクレジットに売却してサーキュラーエコノミーと財源確保に取り組んではどうか。	
		3 道路の安全 安心について	京都縦貫自動車道アンダーパス、市道北谷中山線において、灯りがなく、暗くて危険で不法投棄もあると以前から地域要望があった。 (1) 京都縦貫自動車道亀岡インターチェンジ設置工事を機に、街灯設置を要望してはどうか。	市長 所管部長
		4 企業誘致について	世界では半導体工場誘致が盛んであるが、亀岡運動公園近隣の地区計画指定が進んでいないように感じる。 (1) 日本は産業用地が不足しているため、当該地において企業誘致を積極的に進めてはどうか。	市長 所管部長
3	山木 裕也 9月10日(火) 13:00～ ※一問一答	1 学校の安全管理について	亀岡市内の各小・中・義務教育学校では、侵入者防止のために安全管理が実施されている。さらなる拡充策について問う。 (1) 学校の校門門扉の施錠はどのような基準で行っているのか。 (2) 訪問者への対応マニュアルは作成しているのか。 (3) 訪問者と児童生徒の関係を確認する方法として、内線電話や無線機は導入しているのか。 (4) 訪問者の確認のために、インターホンを設置してはどうか。 (5) 文部科学省による調査研究によると、視認性の確保や明確な領域設定が防犯効果を高めるとされている。各学校での視認性の調査はしているのか。 (6) 視認性確保のために、年々、大木化している学校内の植栽を剪定又は伐採してはどうか。 (7) 犯罪を意図する者の校内への侵入に対する	市長 教育長 所管部長

		2 冷暖房機の環境対策について 3 防災・減災対策について 4 災害時の電源確保について	本格的な訓練は実施しているのか。 (8) 現在、各学校に設置しているさすまたに替えて、新型の防犯用具『ケルベロスSC17』や『弁慶』を導入してはどうか。 (9) 学校警備を民間警備会社に委託してはどうか。 本市施設の冷暖房機における環境対策について問う。 (1) ガレリアかめおかや市庁舎の、近年の年間電気料金の推移は。 (2) 本市における省エネ対策は。 (3) (1)の冷暖房機に、グリーン冷媒を活用してはどうか。 本市における防災・減災対策について問う。 (1) 災害時、本市の上下水道が使用できなくなった際の対策マニュアルはあるのか。 (2) 避難所に指定されている自治会や学校などに防災用井戸を設置してはどうか。 (3) 避難所施設に水や電気がない場合でも使用できるトイレはあるのか。 (4) 各自治会に配備している発電機を、建物の電気が賄える程度の大型発電機に更新し常設するか、適時、設置し使用できるようにあらかじめ電気工事をしておくなど環境を整えておいてはどうか。 災害時の電源確保について問う。 (1) 災害時に必要になる電源確保施策はあるか。 (2) 有事の際、携帯電話が充電できるソーラー式などの充電設備を、指定緊急避難場所に指定されているかめきたサンガ広場に設置しては。	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長
4	三上 泉 9月10日(火) 13:45~ ※一問一答	1 本市のエネルギー政策について	亀岡ふるさとエナジー株式会社は、ACM (Area・Carbon・Management = エリア・カーボン・マネジメント、地域の二酸化炭素を管理して削減していくこと) という理念のもと実証実験に名乗りをあげ、2018年1月31日に、府内初の新電力会社として設立された。ACMを進めることは、SDGs 未来都市亀岡として崇高な理念とその具現化だと考える。 (1) 今後、ACMを進めていく会社として、どのような発展方向を考えているか。 (2) 亀岡市の公共施設では、ふるさとエナジーから電力を購入しているところとそうではないところがあるが、どのような経緯でそのような差が生じているのか。 (3) もし、経費節減を理由に他の電力会社に切り替えざるを得なかった市の施設があるのなら、それはなんとも心がモヤモヤする。公	市長

		共施設の運営経費における電力料金支出について、市長として、どのような考えを持っているか。 (4) 他の電力会社に移行した市の施設の中には、設定された電力消費を超えると電気料金が跳ね上がるので、警告サインが出ると、職員の事務室の照明、エアコン、パソコンの電源も切っている施設がある。そのような事実をご存じか。	
2 地域公共交通への市の役割について	全国的に地域公共交通に対する住民要求が高まっている。令和6年8月18日付京都新聞にも、日本世論調査会がまとめた公共交通を巡る全国郵送世論調査の結果が掲載された。結果をみると、「いつできるかわからない、地域に恩恵があまりないリニアや新幹線より、在来線充実やバス交通を」という思いがにじみ出ていると考える。国も地域公共交通について、しっかりと向き合う姿勢が、関係法律の改正などに見受けられるようになった。 (1) 昨年、国において改正された「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律等の一部を改正する法律」は、「あらゆる政策ツールを最大限活用し、利便性・生産性・持続可能性の高い地域公共交通へのリ・デザイン（再構築）を加速化させる」（国土交通省）と言われている。この法律は本市の公共交通行政にどのような影響を与えることになると考えているのか。 (2) 上記改正法の趣旨にのっとり、まちづくり構想との一体化、福祉、環境、教育などとの連携など総合的な考え方にシフトすべきと訴えてきたが、SDGs未来都市の施策として石川県珠洲市の取組を紹介して、本市の政策に生かせないか以下に問う。 ① 珠洲市の「誰もが豊かに暮らせる権利＝生存権」を「移動する権利」も位置付けた、市営交通の無料化について所見は。 ② 欧州など諸外国の都市でも、公共交通の無料化が進んでいる。無料化は財政支出もあるが、市民福祉の増進には大きな効果があると考ええる。世界に誇れる環境先進都市、SDGs未来都市の本市として、一考する余地はないか。 (3) 令和6年3月に発行された亀岡市地域公共交通計画では、改正法が強調する、地域公共交通の「リ・デザイン」（再構築）の検討については、5年間を通して「実施に向けた研究」となっているが、気にしておかないと5年間何も具体的に考えられなかったということにもなりかねない。後回しにせず近未来の交通について検討する決意は。 バス交通の充実について、各地域からも市民の	市長 所管部長	

			要望が多く出されている。あらゆる手段を用いて、どの地域からも、市政の最大拠点である市役所、生涯学習の拠点施設であるギャラリーかめおか、健康の保持増進拠点施設である保健センターや市立病院に、乗り換えなしで行ける交通が求められている。 (4) 篠地区コミュニティバスについて、篠地域からＪＲ亀岡駅南口止まりの現路線を、市役所、ギャラリーかめおかまで延伸する要望は高いが、実現に向けて、検討課題として取り上げることへの所見は。 (5) 篠地区コミュニティバスの時刻の中で、ＪＲ馬堀駅において、コミュニティバスと通勤利用客で混み合うＪＲ嵯峨野線下り列車の乗り換え時間が３分で、間に合わないときがあるとの住民の声を聞くので、調査し、改善策（バス発車時刻を数分遅らせる、または、電車の到着具合（遅れ等含む）を見て運転手が、乗り継ぎできるような発車のタイミングにするなど）を事業者とも協議すべきと考えるが所見は。	
		3 移動しなくて済む施策展開について	市役所やその近辺の施設、また、ギャラリーかめおかで行われる行事・催し物に行きたくても適時なバスがないから諦めてしまうという声も多く聞かれる。バス交通の充実を重視すべきだが、それとともに、移動しなくても、その地域でできることは地域でやるということも検討すべきだと考える。 (1) かつては、市民健診の会場として東部文化センターが使われていた。復活を求める声大きい。これらの声にこたえることはできるか。	市長 所管部長
		4 亀岡市調整給付金について	国の物価高騰への支援の一環として、定額減税が行われた。定額減税しきれないと見込まれる方には調整給付金が支給されることになり、市より案内が発送され、申請された市民に対する給付が始まっている。 (1) 対象者は約１７，０００人と聞いているが、そのうち案内を発送したのは何人か。 (2) 案内が郵送されても、独居の高齢者などはよく分からない、詐欺かもしれないと思って関わらない、届いていたが書類が見つからない、通帳のコピーなどができないなど申請に行きつかない例も多く聞かれる。全ての対象者に給付されるための具体的な取組は。	市長 所管部長
		5 運動場・球技場の整備について	近隣地域の市民から要望の強い、桂川堤防・護岸高水敷等を活用した篠地域の球技場・運動場の整備を求めているが、具体化できたとして、どの程度のことが可能なのイメージを持つことは必要である。	市長 所管部長

[illegible]

		3 睡眠教育 (眠育)について	は。 (6)マイナ保険証の登録と利用促進に向けての取組は。 睡眠は、こども、成人、高齢者のいずれの年代においても健康増進・維持に不可欠な休養活動である。日常的に質(睡眠休養感)・量(睡眠時間)ともに十分な睡眠を確保することにより、心身の健康を保持し、生活の質を高めていくことは極めて重要である。 (1)睡眠教育について認識は。 (2)市内児童生徒の睡眠状況の把握及び睡眠教育の取組の現状は。 (3)保護者にも睡眠の重要性を理解してもらうことが必要であると考えが見解は。 (4)ライフステージにおいて睡眠の正しい知識を習得することは重要と考える。睡眠について市民への普及啓発の現状と今後の取組は。	市長 教育長 所管部長
6	土岐 新 9月11日(水) 10:00~ ※一問一答	1 大井町商業施設の安全対策について 2 若者のUIターン促進について 3 教育について	大井町並河地区周辺では、新しく商業施設などが建ち、大変にぎわっている。しかし、同時に交通トラブルが多発している。 (1)本市と警察間では、大型商業施設の建築に対し、交通安全についてどのような協議を行ったのか。 (2)本市と大型商業施設間では、交通など近隣住民とのトラブルを想定し、事前にどのような協議を行ったのか。 商業施設などに搬入を行う車両が、市道などの施設外に停まって作業するため、交通の妨げになり非常に危険である。 (3)当該施設に、直接、啓発と要望を行ったが改善されない。大きな事故が起きる前に本市として、安全対策など対応する考えは。 先日、四国中央市の若者のUIターンを促進するための事業『あったかしこちゅ〜事業』について、会派視察を実施した。本市でも若者人口を増加させることは一つのテーマであり、若者のUIターンの推進に尽力する状況であると考え。 (1)直近3年の転出者数とそのうち15歳から24歳までの転出者数は。 (2)若者の就職に対して支援していることは。 (3)移住定住のための地方創生の取組は。 (4)四国中央市同様、本市でも賛同企業に協力いただき、若者のUIターンに向けて取り組む考えは。 子ども達の人生の中で必ず訪れる大きな選択である進路について、本市の教育委員会の方針や教職員の指導は非常に重要と考える。 (1)直近3年の本市小学6年生の人数、中学校	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 教育長

		4 人気SNSと行政との連携について	を受験した人数並びに市外の中学校に入学した人数は。 (2) 本市中学校卒業生の、進学した生徒と就職した生徒の割合は。 (3) 進路選択する際、教職員はどのような指導をしているのか。 (4) 保護者と生徒本人の希望に沿う進路指導を行うため、新たな取組も含め教職員に対する教育長の考えは。 近年、YouTube・TikTokをはじめとするSNSなどは、行政も無視できない存在になっている。今後の新たな取組、財源確保につながる一つの手法として提案する。 (1) SNSの影響力をどのように考えるのか。 (2) 人気ユーチューバーと連携し、大きなイベントを開催する考えは。 (3) 人気ユーチューバーの影響力、経済効果を鑑み、連携して事業を行う考えは。	市長 所管部長
7	福井 英昭 9月11日(水) 10:45～ ※一問一答	1 ガレリアかめおか周辺利用について 2 市の普通財産について 3 公用車の入札について	ガレリアかめおかは、「生涯学習都市」の一大拠点として建設・運営され、四半世紀が経過した。亀岡会館の取り壊しや各種施設の老朽化もあり、修繕や運営など問題はあつたものの今となつては、「もしガレリアかめおかがなかつたら」と改めて、その存在感を感じているところである。そこで、ガレリアかめおか周辺の整備と有効利用について問う。 (1) 慢性的な駐車場不足が続いているが、解決するにあつて、どのような努力を行っているのか。 (2) 現在、京都府が京都府農林水産技術センターの移転を行っているが、現在の進捗状況はどうか。 (3) 京都農業協同組合(JA京都)本店の移転が計画されているという情報があるが、市はどのように関わっていくのか。 (4) 今後、施設整備などを行うにあつては、建設場所を一定集積することが有利と考えるが、所見は。 市の普通財産について問う。 (1) 市全体で、どのくらいの普通財産があるのか。 (2) 将来的に行政財産から普通財産に移行できるものは、どのくらいあるのか。 (3) これらの普通財産は、計画的に処分されていると考えているが、実際はどうか。 備品購入、特に公用車の入札・購入について問う。 (1) 最近、新車を購入する場合、納期が延びていることが多いが、必要な時期に間に合っ	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長

		4 平和学習、修学旅行について	ているのか。 (2) 安全装置の搭載や物価高などによって、自動車そのものの価格が高騰しているが、入札時の基準価格は、そのようなことを加味しているのか。 (3) 入札不調が続いていないか。 新清流会は、中学生の修学旅行の一部、特に平和学習で訪れる場所へ実際に行き、行政視察を行った。中学生という多感な時期に体験するべき、素晴らしい取組であることを体感できた。 (1) 沖縄への修学旅行は、京都府内の学校も多く行っていると思うが、実情はどうか。 (2) 平和学習の一環として位置づけるのであれば、修学旅行の補助額を増やしてもよいのではないか。 (3) 実際に修学旅行で沖縄を訪れ、平和学習を実践した中学生の感想は、どのようなものなのか。	市長 教育長 所管部長
8	平本 英久 9月11日(水) 13:00～ ※一問一答	1 市長の政治姿勢について 2 本市の災害対策について	これまでも子どもファースト宣言の表明をはじめ、交流人口の増加を促すための様々なイベントの開催など、桂川市長のリーダーシップにより積極的な市政運営を進めるとともに、不当要求行為等対策条例の制定など働く職員の職場環境の改善等にも取り組んできた。市長が目指す今後の市政運営について問う。 (1) 先に行われた亀岡平和祭保津川市民花火大会では、多くの職員が安全な大会運営のために率先して従事いただいたが、こうした職員に対する市長の評価はどうか。 (2) 本市職員の勤務形態や処遇について拡充する考えは。 (3) 今回の亀岡平和祭保津川市民花火大会では、彩羽真矢さんをボランティアPR隊長としてお迎えし、大会を盛り上げていただいたが、正式に観光PR大使として任命する考えは。 (4) 東京バレエ団の南江祐生さんは本市出身であり、現在創作バレエ等多方面に活躍をされているが、あわせて観光PR大使に任命する考えは。 近く起こりうる南海トラフ地震も想定し、これまで以上に綿密な災害対応や対策の検討が必要であることから、本市の考え方について問う。 (1) 本市として受援体制の整備について、検討を行うと令和6年3月議会において答弁があったがその後はどうか。 (2) 震災等による他市町からの応援職員の受入れ体制に対する本市の考え方は。 (3) 本市の避難所運営に対する考え方はどうか。また、市内ホテルや宿泊施設等を活用し	市長 市長 所管部長

		3 花火大会の開催について 4 ガレリアかめおかの運用について 5 スポーツ施設の充実について	た2次避難に向けた連携はどうか。 (4) 避難所における焚き出し等の食事支援の在り方について本市の考え方は。 これまでも平和を願うとともに、本市のにぎわい創出に向け開催してきた亀岡平和祭保津川市民花火大会であるが、今回も混雑や混乱、大きな事故などもなく無事に花火大会を終えることができた。大会を終えてどのように考えているか問う。 (1) 今回の花火大会による経済効果や事業全体としての成果は。 (2) 昨年の花火大会では多くのリユース食器の紛失が発生し、多額の補償金を支払ったが今年はどうであったのか。 (3) 今年度の花火大会ではどのような課題があったのか。 多くの市民に親しまれ、各種イベントの開催や常設されている「かめまるランド」など広く利用されているガレリアかめおかについて、さらなる施設の活用について問う。 (1) 現在の平日における利用状況と稼働率はどうか。 (2) 来館された観光客に対しアンケート調査等は行っているのか。 (3) 道の駅に対する本市の考え方は。 本市からは空手の荒賀龍太郎選手やヤクルトスワローズで活躍する高橋奎二選手、西武ライオンズの木瀬翔太選手等、これまで多くの有名スポーツ選手が誕生し活躍をされているが、本市のスポーツ推進について問う。 (1) 子どもたちが気軽に空手に接することができる機会や環境をつくってはどうか。 (2) 亀岡運動公園や医王谷野球場のグラウンドなどスポーツ関連施設の整備に対する考えは。 (3) 両施設においてAEDやラインパウダーの設置の考えは。	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長
9	原野実生子 9月11日(水) 13:45～ ※一問一答	1 子育て支援について	子育て世代の支援ニーズが多様化する中、ベビーシッターの利用や産前・産後訪問支援員について、本市の考えを問う。 (1) 現在、本市でベビーシッターとして活躍されている方の人数は。 (2) こども家庭庁ベビーシッター派遣事業割引券の概要は。 (3) 亀岡市内で、こども家庭庁ベビーシッター派遣事業割引券が利用できる企業数は。 (4) 今後、こども家庭庁ベビーシッター派遣事業割引券を取り入れる企業を増やすために広報活動などは行えないか。	市長 所管部長

		2 ファミリーサポート利用について 3 事業所への通所支援について	(5) 産前・産後訪問支援員の概要は (6) 亀岡市内で活躍されている産前・産後訪問支援員の人数は。 20年以上にわたり、子育て世代をサポートしていただいているファミリー・サポート・センターの利用について問う。 (1) ファミリー・サポート・センターの概要は。 (2) ファミリー・サポート・センターのおねがい会員の利用件数と利用料金は。 (3) 利用料金を補助することはできないか。 就労継続支援A型事業所への交通費助成について問う。 (1) 就労継続支援A型事業所に通所している市民の人数は。 (2) 障害者サービス事業所等通所交通費助成金の対象をA型事業所へ通所する市民にも拡大できないか。	市長 所管部長 市長 所管部長
10	大西 陽春 9月11日(水) 14:45～ ※一問一答	1 コミュニティバスの利便性について 2 敬老乗車券について	JR亀岡駅を起点に市内中心部の公共施設や商業施設への移動手段として運行されている「亀岡地区コミュニティバス」は、市民の大切な移動手段となっている。しかし、更に利便性を高めるために、それぞれの地域住民からさまざまな要望がある。今後、高齢化が進み運転免許証自主返納者が増加すると見込まれる亀岡市において、市民の移動手段を保障するための対応について問う。 (1) 地域住民から「亀岡地区コミュニティバス」東コースにおいて路線延長や反対回りなどを求める声があるが、所見は。 (2) 西つつじヶ丘自治会から長年、要望されてきた美山台への延伸について、市道つつじヶ丘87号線の勾配箇所補修工事も完了し、無事、試験運行できた。本格運用に向けて現在の進捗状況は。 (3) 千代川町に住む住民からは、町内を循環するバスや千代川町からガレリアかめおかや市役所に行けるコミュニティバスの新設の要望がある。運転免許証自主返納後も安心して暮らせるようバス交通充実の要望に応えるべきではないか。 亀岡市敬老乗車券は昨年度2,479冊の利用があったが、今年度は2,000冊到達で販売終了となった。高齢者の移動を支えるこの制度について問う。 (1) 利用実績よりも少ない販売数にしたのはなぜか。 (2) この敬老乗車券は本人以外使用できない。健康状態の変化などにより使用できなくなった時に、払い戻しできないか。	市長 所管部長 市長 所管部長

		3 介護事業の利用者負担軽減について 4 つかいやすいJR千代川駅について	(3) 8月22日に完売したが、増刷販売の計画はないか。 (4) 高齢者の移動手段を確保するため、新たな施策が必要では。 社会福祉法人などが提供する介護サービスを利用する際に、低所得の方の利用者負担が軽減される場合がある。「亀岡市社会福祉法人等介護保険事業利用者負担軽減要綱」による利用者負担軽減について問う。 (1) 亀岡市内に介護サービスを提供する社会福祉法人の数は。 (2) 社会福祉法人等による利用者負担軽減を実施している社会福祉法人は。 (3) 利用人数と総額は。 (4) このサービスの周知方法は。該当する方が全て利用できるように、市が発行する「介護保険」のパンフレットに記載できないか。 JR千代川駅については令和5年3月議会に質問したが、JR亀岡駅以北の減便の復旧と、JR千代川駅東西自由通路整備計画について、その後を問う。 (1) JR亀岡駅以北の減便を復活させてほしいとの声を聞く。「京都丹波基幹交通整備協議会の総決起集会において、減便措置の早期復元について決議書が承認、採択、引き続き、JR西日本へ要望活動を行う予定」と答弁があった。その後、JR西日本にどのような要望をされ、その返答は。 (2) JR千代川駅の跨線橋は老朽化が激しい。今年度、実施設計が行われている東西自由通路に設置されるエレベーターは、駅のホームにつながるのか。 (3) JR千代川駅東西自由通路整備計画においては、「駅前広場間の移動に要する時間を短縮させる。」とあるが、東西自由通路の完成後、現在の跨線橋はどのようなになるのか。	市長 所管部長 市長 所管部長
11	富谷加都子 9月11日(水) 15:30~ ※一問一答	1 高齢者福祉施策について	高齢化が進展する中、亀岡市いきいき長寿プラン（亀岡市高齢者福祉計画・第9期亀岡市介護保険事業計画）を策定し、引き続き「住んでよかった亀岡、高齢になっても楽しい亀岡」を基本理念として高齢者福祉施策が始動している。万が一、要介護状態になっても、適切なサービスが受けられるよう、取組の充実を求める。 (1) 第9期亀岡市介護保険事業計画策定にあたり、前期計画の総括は。 (2) 前期計画と比べ変わった主な取組とは何か。 (3) 後期高齢者が増える中、身守り・安否確認・買い物・ゴミ出し・掃除等のちょっとした日常生活支援が在宅生活を支える上で重要で	市長 所管部長

		ある。そこで、介護予防・日常生活支援総合事業の中に住民主体の生活支援を整備する考えはあるのか。 (4) 元気アップ体操は、健康寿命延伸や交流の促進に有効な取組である。介護予防事業として身近な場所（通いの場等）で多くの市民が取り組める環境整備を期待するがどうか。 (5) 要介護高齢者の在宅生活継続・向上のため介護用品の支給は重要な施策である。今年度から対象要件や支給金額が充実されたが、要介護3で、認定調査票の排泄項目が介助に該当し、日常的に紙おむつが必要な方でも対象外となっている。今後、ますます在宅介護の環境整備が求められる中、要介護3の認定者まで対象を拡大できないか。 (6) 認知症の方が増加する中、認知症対応型通所介護サービスの受け皿を増やす考えは。 (7) 認知症の早期診断・早期対応が重要と考えるがどのような取組があるのか。 (8) 带状疱疹ワクチン接種の定期接種化が進んでいる。令和6年6月議会にて、市独自の補助制度の創設について、対象年齢を分散化しながら接種していけないか検討するとの答弁をいただいたところであるが、実施に向けた進捗状況は。	
	2 若者世代の意見反映について	2023年4月に「こども基本法」が施行された。「こども基本法」は、当事者である子どもや若者が意見を表明し、社会参画の機会確保や子どもの意見の尊重を基本理念としている。 (1) 今まで、子どもを含む若者世代が市政への関心を高めるため若者世代の意見をどのように市政に反映してきたのか。 (2) 若者世代の意見を反映した政策はあるか。 (3) 新城市をはじめ、宇部市、鳥取市等が若者世代の意見を生かす場として「若者議会」を設置し、若者の力を活かすまちづくり政策を練り上げている。若者世代の声を市政に届ける体制づくりとしての「若者議会」についての所見は。	市長 所管部長
	3 亀岡ジャズフェスティバルについて	11月4日に亀岡ジャズフェスティバルが開催される。市民力でジャズが入口となり、音楽を楽しみ地域の経済活動が活性化することを大いに期待する。 (1) 今年度予算に、亀岡ジャズフェスティバルに係る経費が計上された。亀岡ジャズフェスティバルにかける思いとは。 (2) 亀岡ジャズフェスティバルが回を重ねる毎に企画が充実し、内外問わず集客が増え、亀岡ジャズフェスティバルが定着し、市民に根付いていくことが理想と考える。今後、市として地域活性化を促進する観点から考えら	市長 所管部長

			れる後方支援とは何か。	
12	竹内 博士 9月12日(木) 10:00～ ※一問一答	1 気候変動と熱中症対策について 2 保津川市民花火大会について 3 食育について	今年も各地で連日、最高気温35度以上の猛暑日が続く、6月以降、猛暑日を観測した地点数の累計は、記録的な高温となった令和5年や平成30年を上回った。 (1) 令和6年7月7日に行われた「第39回亀岡市消防操法大会」において、開会式の最中に体調不良を訴える消防団員がいたほか、欠席した消防団員がいたと聞いている。今後、開会式はテントの中で行うなど熱中症対策への配慮はできないか。 (2) 大会当日、消防団員が長袖を着ていたのに対し、消防署員は半袖のTシャツを着ており差を感じた。消防団員の服装について、暑さ対策が必要であると考えが所見は。 (3) 環境省が公表する日本生気象学会の「日常生活における熱中症予防指針ver. 4」によると、暑さ指数(WBGT)31度以上の場合、運動は原則中止となっているが、猛暑日における部活動や体育の授業などの在り方について、今度どうするべきか方針や対策はあるのか。 (4) 猛暑日が続く中、子どもたちが夏休みに遊ぶ場所が少なくて困るという声を聞く。特に山間地域の子どもは亀岡運動公園プールも遠くて行けないとの声も聞くため、小学校のプールを夏休み期間だけ自治会へ管理委託して一般開放し、地域住民の交流の場として機能させることはできないか。 令和6年8月11日に開催された第73回亀岡平和祭保津川市民花火大会について問う。 (1) 今年は「日本一エコな花火大会」と銘打って、ごみやリユース食器の回収に力が入っていた。今年のエコステーションでの食器の回収率と課題は。 オーガニックビレッジ宣言に基づき、学校給食においては、オーガニック米をはじめとする有機農産物の導入が進んでいる。しかし、次代を担う子どもたちへ豊かな農と食を引き継ぐために、さらなる食育を推奨すべきと考える。 (1) なぜ給食にオーガニック米の導入を推奨しているのかについて、食べるだけでなく、生産過程などの環境についても知ってもらうために、以下4つの取組を進めるべきと考える。 ①授業の一環として、田植や稲刈り、田んぼの見学などの米作り体験への参加を取り入れてはどうか。 ②学校の菜園をオーガニックに切り替えてはどうか。	市長 教育長 所管部長 市長 所管部長 市長 教育長 所管部長

		4 高齢者の移動手段について	③家庭科の授業で、オーガニック食材を使い、米粉でパンやお菓子作りなどを実施してはどうか。 ④給食時に、学校の校内放送及び各教室内のテレビで、生産者からのメッセージやオーガニック米を育てている様子などを放送・放映してはどうか。 (2) オーガニック野菜について、市民理解や機運の醸成を図ることを目的として、例えば、「みんなでオーガニック野菜を育てようキャンペーン」のように、亀岡市民が自宅でオーガニック野菜を育てることを促す取組を推奨してみてもどうか。 高齢者の運転免許証返納後の課題の一つに、移動手段の確保が挙げられる。現在、本市では地域主体型交通に重きを置くが、バスのドライバーの成り手不足や高齢化が課題である。 (1) 愛媛県伊予市では、ドライバーのいない自動運転バスが実証実験中で注目を集めており、実際に視察にも行き、試乗した。本市における自動運転バスの実用化の可能性は。	市長 所管部長
13	法貴 隆司 9月12日(木) 10:45~ ※一問一答	1 市制70周年について 2 安全・安心なまちづくりにについて 3 消防団について	来年、亀岡市は市制70周年を迎える。人口減少や高齢化が進行し、地域社会の持続可能性が問われる中、市制70周年という節目は、市民が一体となって亀岡の歴史や文化を再認識し、次の世代につなげ、持続的に発展していくために重要な転機とする必要がある。 (1) 市制70周年を迎えるにあたり、今後の亀岡市全体のビジョンと達成したい目標は。 (2) 記念事業の具体的な計画と現在の準備状況は。 (3) 市制70周年を契機に、行政サービスの向上を図るための新たな施策はあるのか 事故や犯罪を未然に防ぐことは、住民の安全と安心を守り、社会全体の秩序を維持するために重要である。 (1) 防犯カメラ設置の補助金額を引き上げ、設置台数を増やすことはできないか。 (2) 市道南条寺線、曾我部町寺貝ノ庄付近に埋設式の防火水槽設置の要望があるが、どのように対応するのか。 (3) 市道南条寺線、曾我部町南条大谷付近に違法駐車対策としてガードレールやポールを設置できないか。 消防団は火災や災害時に迅速な対応を行う、地域防災の要として、重要な役割を担っている。しかし、高齢化や人口減少が進み、団員の確保が課題となっている。また、多様化する環境や災害に対応するため、訓練や装備の充実が求められてい	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長

		る。 (1) 亀岡市消防団の条例定数 900 人に対し現在の団員数は。 (2) 過去 3 年間の入団者と退団者の比率は。 (3) 団員の確保と維持のためにどのような対策が講じられているのか。 (4) 消防団の役割や活動内容について、市民へどのように周知しているのか。 (5) 災害現場で、消防団員の安全を確保するため、どのような装備やサポートが提供されているのか。 (6) 災害以外の出動で利用できる T シャツや空調服、ファンヘルメットを提供してはどうか。 (7) 団員を支えていただいている家族に対する支援や感謝の意を表するイベントなどを行う計画はあるのか。 (8) 条件付きで団員に自動車運転免許取得費用に対する補助金を拠出してはどうか。	
		4 本市の職員数について 自治体の職員は地域社会の中核として重要な存在であり、住民生活の質を向上させるために欠かせない存在である。 (1) 消防職員の人数は充足しているのか。	市長 所管部長
		5 亀岡運動公園プールについて 亀岡運動公園プールは地域住民の健康促進やスポーツ振興、地域コミュニティの活性化を図るために必要な公共施設である。 (1) 7 月 30 日の事故以降に行った安全対策と、今後開園前にどのような事故防止対策を行うのか。 (2) 施設が老朽化している箇所が多々見受けられるが大規模改修の予定は。	市長 所管部長
14	大塚 建彦 9 月 12 日(木) 13:00~ ※一問一答	1 新火葬場整備計画について 亀岡市土地開発公社が法務局に申し立てていた、余部町丸山地内での筆界特定に対し、亀岡財産区管理会が異議を申し立てなかったため、法務局登記官の促しにより地積更正登記されたことで、新火葬場の建設予定地の土地開発公社所有地が確定したところである。令和 6 年度当初予算には、新火葬場整備の敷地造成基本計画に関する予算が計上されており、早期の完成が待たれるところである。 (1) 今後の建設計画は。 (2) 事業手法は P F I 方式で行うのか。 (3) 建設費用が高騰しているが、当初予算の範囲で整備できるのか。 (4) 新火葬場完成後、現火葬場はどのように活用するのか。 (5) 下矢田町の極楽橋東側、旧火葬場跡地に残されている、墓石や残がい処理する計画はあるのか。 (6) 旧火葬場敷地内にある建物は、市が許可し	市長 所管部長

			た目的のとおり使用されているのか。	
		2 緑化フェア開催時の諸課題について	経政会は、第39回全国都市緑化北海道フェアが開催された北海道恵庭市で、事業の検証内容などについて行政視察を行った。本市では、全国都市緑化フェア in 京都丹波の開催に向け、新たに組織を整備し事業計画の策定などに取り組んでいる。 (1) 南丹市・京丹波町とはどのように連携しているのか。また、その進捗状況は。 (2) 開催地域が2市1町と広域であるが、自家用車利用者以外の来場者に対し、会場までのアクセスについて、対策を講じているのか。 (3) 恵庭市では、渋滞緩和のため、周辺道路の交通分析まで行ったにもかかわらず、実際には駐車場を利用するために大渋滞が発生した。本市においては、どのような渋滞対策を行うのか。 (4) 来場者数や年代などの分析を行っているのか。また、同伴する子どもたちが喜ぶイベントなどを行う考えは。 (5) 会場内で出店される物販やキッチンカーなど、収益事業に対応する会社を亀岡市が設立する考えはあるのか。 (6) 災害時に車中避難を行うことなどを目的として整備された野水池駐車場を活用する予定はあるのか。	市長 所管部長
		3 有害鳥獣駆除の新たな取組について	令和6年6月議会の一般質問で、産業観光部長から、農林水産省が総合的に計画する鳥獣被害防止対策について、説明と提案をしていただいた。前回、京都府が進めるバッファークーゾーンの整備を取り上げたが、鳥獣被害を防ぐ新しい手法として改めて問う。 (1) バッファークーゾーンの整備とは、どのような内容なのか。 (2) (1)の事業実施に係る標準事業費として、1地区につき450万円の事業費が計上されているが、地元負担はどのようなになっているのか。 (3) 旭町では、近年イノシシや鹿の獣害に加え、熊の出没が頻繁に確認されている。バッファークーゾーン事業は熊の出没が認定条件に含まれるため、取組を検討しているが、地元負担がネックになる。この事業に活用できる補助金や制度はないか (4) 事業期間(5年)終了後、バッファークーゾーンの維持管理は、地元負担で行うことになるのか。	市長 所管部長
		4 亀岡市における小児科診療について	亀岡市は、子どもファースト事業として、こども医療費18歳まで拡大と無償化、保育料第2子以降全て無償化や保育所などでおむつの提供、処	市長 病院事業管理者 所管部長

			理の無償化などに取り組み、子育て世代から高い評価を得ており、子育て世代の移住希望者も増えている。 (1) 亀岡市内の小児科医院は、予約が取りにくい状況である。地元医師会と現状について協議を行っているのか。 (2) 小児は病状が急変することも多い。緊急時の対応を市民に周知するとともに、基幹病院との連携などはできているのか。	
15	木村 勲 9月12日(木) 13:45~ ※一問一答	1 JR嵯峨野線の復便について 2 大井町内の河川整備について 3 花火大会の成功と反省点について	JR嵯峨野線亀岡駅以北は、新型コロナ以降、昼の時間帯の便が1時間に1本となり市民は大変不便な思いをしている。 (1) 8月24日の京都新聞朝刊に、JR亀岡駅以北で減便された山陰線の便数復活を目指して、本市がJR西日本の株式を1億円で購入する記事が出ており、今議会に議案提案されている。何株購入し、何%取得となるのか。 (2) JR並河駅、千代川駅のある大井町、千代川町は大きな期待をしているが、復便以外にどのような要望をするのか。 (3) 令和8年9月中旬から11月中旬に開催される全国都市緑化フェアの期間中には復便されるのか。 (4) 株式を購入後、買い増しする予定は。 願成寺川と犬飼川の改良について問う。 (1) 国営緊急農地再編整備事業桂川西工区の完成に伴い、千代川町明晴地区の遊水池がなくなる。願成寺川に流入する水量は増加しないのか。 (2) 国営緊急農地再編整備事業桂川西工区の工事に伴い大堰川と願成寺川、犬飼川の3川合流地点の改良工事は計画しているのか。 (3) 犬飼川と大堰川の合流地点の霞堤完成予定はいつか。 第73回亀岡平和祭保津川市民花火大会が多くの方の参加により8月11日に開催された。今大会の結果について問う (1) 有料チケットの売上額と観客数は。 (2) 昨年回収が少なかったリユース食器の回収率は。 (3) 打ち上げ場所周辺に花火の残骸が残っていた原因と今後の対策は。 (4) 今年のドローンショーは昨年の100機から300機と増やして大変好評であったが、来年度の構想は。 (5) 花火打ち上げ前、キッチンカーに大変な行列ができたが、来年度の対策は。 (6) トイレにも長蛇の列ができていたが、今年の反省と対策は。	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長

		4 鳥獣被害対策と里山再生について	近年、鹿や猪による農作物の被害は高額となり、耕作放棄する方もあると聞く。また、熊の出没により、市民の生命が脅かされる現状がある。里山再生整備と鳥獣被害防止について問う。 (1) 里山再生整備事業について本市の取組は。 (2) 被害状況は。 (3) 補助対象と補助金額は。 (4) 本市の予算と補助金の活用実態は。 (5) 鳥獣被害防止総合対策についてどのようなものがあるのか。 (6) 支援内容と補助金額は。 (7) 緩衝帯を設置している市町があるが効果と問題点は。 (8) 今後、亀岡市としての取組は。	市長 所管部長
16	片山 輝夫 9月12日(木) 14:45～ ※一問一答	1 市職員の処遇改善について 2 米不足対策について	人事院は8月8日、国家公務員の給与勧告・報告、公務員人事に関する報告を内閣と国会に対して行った。物価高騰や今春闘の動向から、月例給は3年連続の引上げで、平均2.76%(11,183円)、一時金は0.1月(再任用職員は0.05月)の増となり、地域手当の区分設定を都道府県単位とし、京都府は8%に設定された。市職員の処遇改善について問う。 (1) 令和6年度の職員採用募集において、京都府や京都府下の他市動向を考慮し、初任給水準を4号アップするなど人材確保に苦慮している状況である。今回の人事院勧告には問題点も多くあるが、少なくとも給与アップにつながる勧告内容については、職員の生活実態やモチベーションが低下しないよう前向きに対応する考えはあるか。 (2) 再任用職員の給与は正規職員の6割水準とされ、一時金の支給割合は会計年度任用職員よりも低い水準に置かれている。豊かな経験を行政運営に生かし、若手職員の育成にも関わっている再任用職員の処遇改善は喫緊の課題であるが、どのように認識しているか。 (3) 会計年度任用職員から私傷病による療養休暇・子の看護休暇・介護休暇の有給化が強く要望されている。京都府では既に3日の病欠休暇や子育て休暇も有給化されており、国においても前向きに検討されている。職員の健康管理の面から積極的に導入に踏み出すべきではないか。 スーパーや米穀店での米不足が深刻になり、価格も急騰している。国は「米不足は深刻ではなく、新米が出回ると改善される」と判断しているが、市民の不安は全く解消されていない。 (1) 亀岡市内の現状をどう把握しているか。 (2) 特に対策が必要な高齢者施設や医療機関、学校給食、こども食堂等へはどのような対策をとっているのか。	市長 所管部長 市長 所管部長

		(3) 民間の在庫量も過去最低となり、今後新米の奪い合いなど需給逼迫が予想されるが、来年度の米作付面積について、どのような方針で対応するのか。	
	3 農業振興及び後継者対策について	現在各地域で地域計画の策定が進められているが、いずれの地域でも農家の廃業や後継者不足が課題となっている。これまで農村の良好な景観（原風景）が農家や地域住民の努力により守られてきたが、今後はその維持が困難になると言われている。 (1) 持続可能な農業にとって、再生産可能な生産者米価は必須条件である。農家の率直な声は「30キログラム1万円は最低必要」であるが、現在の生産者米価の水準をどう考えるか。 (2) 現農家は「子供には継がせられない、今の機械が潰れたらやめる。」が合言葉のようになっている。後継者対策は待ったなしの課題であり、以下の対策を提案する。 ①令和3年度から創設された国の事業で、地域農業の担い手の経営を親から継承した後継者を支援する「経営継承・発展等支援事業」を本市にも導入してはどうか。 ②地域担い手応援事業の対象要件のうち、地域計画に位置付けられた担い手の一定規模以上の要件を撤廃もしくは緩和してはどうか。 ③中山間農地の維持管理には、長大法面の草刈り等多大な労力がかかる。中山間地域等直接支払制度の次期対策に向け、対象農用地に南丹市や京丹波町も対象としている緩傾斜農用地（勾配が1／100以上1／20未満の田）を含めてはどうか。	市長 所管部長
	4 開発公園の維持管理について	多くの開発公園は建設以来40年から50年が経過し、維持管理に多額の経費を要する修繕・更新時期を迎えており、地元区ではその対応に苦慮している実態がある。 (1) 市は地元区に維持管理を依頼する根拠として、「開発当初の開発事業者と亀岡市との協議や覚書に基づいて」と答弁しているが、覚書に記載されている団地自治会とはどのような組織を想定していたのか。 (2) 団地自治会と現在維持管理を依頼されている現地元区は同一組織になるのか。 (3) 地元区が当該公園の維持管理に同意した書面は存在するのか。 (4) 地元区から「なぜ管理しなければならないのか」との疑問も出されている。開発公園の管理について、新たに管理協定を締結するなど役割分担を整理すべきではないか。	市長 所管部長
	5 地域公共交	少子・高齢化社会の進展に伴って、便利であつ	市長

		通計画について	た車中心の社会システムと生活実態との間にそ ごが生じてきている。地域公共交通の充実が地域 で住み続けるためにも、待ったなしの課題であ る。 (1) すぐに改善できる課題として、亀岡運動公 園や京都先端科学大学での乗り継ぎの見直 し(直通乗り入れバスの運行)があるが、い つ実施するのか。 (2) ふるさとバスの運行を補完する輸送手段と しての地域主体型交通とは、具体的にどのよ うな役割を考えているのか。	所管部長
17	林 徹司 9月12日(木) 15:30~ ※一問一答	1 物価高騰の 対応について 2 安全・安心 のまちづくりに ついて	スーパーではお米が買えず何軒も探し求めな くてはならない状況である。 また、お米をはじめ食品や生活必需品の価格は 高騰し、市民の経済的な負担は大きくなるばかり である。 (1) 国は新米が出まわれれば解消すると安易に言 っているが、今後に向けて本市として対応を 考えておくべきではないのか。 (2) 本市独自の何か経済的な支援対応を検討し ているのか。 (3) 食品ロスを巡り、家庭や企業で使わない食 品などを有効に活用されているが、事業者任 せだけではなく本市がステーションの一役 を担えるようなSNSやアプリなどを活用 してはどうか。 (4) 9月から一部施行される第3次担い手3法 が与える本市への影響は。 近年、他市町では頻発する線状降水帯が記録的 な大雨をもたらし、土砂災害や川の氾濫など大き な被害が相次いでいる。 (1) 政府の国土強靱化計画2024の主な施策 から本市の取組について確認する。 ①本市のハザードマップを最新状況に更新す る必要性はないのか。 ②各自治会におけるコミュニティタイムライ ンの整備状況は。 ③ペット避難における備えのパンフレットや 対応マニュアル策定の状況は。 ④地域災害拠点病院の耐震化のほか、自家発電 設備や給水施設の整備促進は。 ⑤南つつじヶ丘で汚水がマンホールからあふ れ出て改修工事が実施されたが、原因は。 ⑥東つつじヶ丘からは市道と住宅の隙間から 漏水があり住民から対応の相談があったが 本市全体の現状は。 (2) 本市の水道水におけるPFASの状況は。 (3) 今議会で、上程された亀岡市空家等対策の 推進に関する条例の一部改正は、市民にとっ て今までと具体的にどのようなことが変わ るのか。	市長 所管部長 市長 所管部長

		3 これからの文化施設について	(4) 最近、電力会社や携帯電話会社を名乗り執拗に電話があり、中には個人情報などを聞き出し詐欺と思われるケースや被害の相談も増えてきている。 ①本市における電話による詐欺手口の現状は。 ②市民にむけて注意喚起を行うため金融機関やコンビニなどに更に協力を仰ぎ、詐欺から市民を守る対策を強化してはどうか。 これからの文化施設について問う。 (1)本市が建設を検討している博物館や文化ホールはどのように進められているのか。 (2)政府は新たな官民連携にあたっては公共施設の運営を民間に任せるコンセッションの一層の活用を掲げ、令和4年度から令和13年度までPPP/PFI推進アクションプランの事業規模目標を30兆円としている。本市としても導入を考えてはどうか。	市長 所管部長
18	小川 克己 9月13日(金) 10:00~ ※一問一答	1 クールアースについて 2 観光施策について 3 かめおか観光PR大使について	地球温暖化が進む中、今年の8月も酷暑が続いた。市民とともに推進する涼しい夏の取組や、市民みんなが進める脱炭素、カーボンニュートラルの取組について問う。 (1)クールアース「ライトダウン in かめおか」を再開し、その期間に合わせて環境学習や、天体観測会等を行ってはどうか。 (2)盛夏期間の朝と夕もしくはどちらかで「打ち水キャンペーン」を行ってはどうか。 (3)みどりのカーテンの普及はどうか。 (4)かめおか脱炭素未来プランや「デコ活」を今後どのように浸透させていくのか。 本年8月11日に第73回亀岡平和祭保津川市民花火大会が開催され、今年は2尺玉が打ち上げられるなど亀岡の夜空に大輪の花が咲き、市内外から多くの見物客が訪れた。 (1)市として今大会の来場者数と効果をどのように把握しているのか。 (2)今大会における課題はあるのか。あれば、どのように次回に反映させようと考えているのか。 京都・かめおか観光PR大使について問う。 (1)現在、京都・かめおか観光PR大使は何人おられ、どのようなことをしていただいているのか。 (2)市制70周年記念事業に招待し、各分野で事業に携わっていただいているかどうか。 (3)花火大会ボランティアPR隊長の彩羽真矢さんには、花火大会のボランティアガイドとして、市のPR、エコステーションでの分別のお手伝い等をしていただいた。令和6年6月議会でも質問、提案したが、世間への影響	市長 所管部長 市長 所管部長 市長 所管部長

		力や亀岡市への貢献度を考慮し、彩羽真矢さんを京都・かめおか観光PR大使に就任いただいてはどうかと考えるが、その後の検討状況はどうか。 (4) 亀岡の魅力を発信していただく京都・かめおか観光PR大使は、様々なジャンルで活躍されている方に多チャンネルで発信をしていただき観光につなげていただければと思う。例えば本市出身で、国内外からも活躍が期待される、東京バレエ団所属の南江祐生さんをお願いしてはどうか。	
	4 農業用ため池について	農業用ため池は、安定した米作のための用水確保だけでなく、豪雨時の土砂や雨水を一時貯水する洪水調整機能や、水鳥等の動植物が生息する自然の憩いの空間でもある。貯水することにより、地球温暖化防止、火災発生時の水利と効果はあると思うが、いずれの施設も築造から長い年月が経過しているという課題もある。 (1) 現在本市ではどのくらいの農業用ため池があり、そのうち防災重点ため池の数は。 (2) 農業従事者が減少するため、国内の食糧自給率向上、水田を守らなければならない。今後、南海トラフ巨大地震がますます危惧される中、ため池の維持補修への施策の状況は。また、市・国・府と連携し、加速させる考えは。	市長 所管部長
	5 道路行政について	亀岡市内を縦断する国道9号は慢性的な渋滞にある。渋滞緩和と、児童生徒や高齢者等の安全な歩行や自転車の通行が望まれる。 (1) 国道9号の交差点改良について京都国道事務所と亀岡市との協議は。 (2) 例えば、加塚交差点の信号調整等で渋滞を緩和できないか。 (3) 歩道の拡幅について国・府・市の連携状況について問う。 ① 府道郷ノ口余部線と市道並河蚊又線の接続に伴い、国道9号若宮橋から南までの西側歩道の整備の要望は出来ないか。 ② 京都国道事務所による千代川町小林地区から千原地区までの歩道の拡幅に伴い、交差する市道の中で、特に多くの児童生徒が利用する市道の歩行空間整備を行う考えは。	市長 所管部長
19	梅本 靖博 9月13日(金) 10:45~ ※一問一答	1 消防団について 消防団については、今まで多くの議員が取り上げてきたが、私が消防団活動を通じて知り、感じた実体験から見えた課題について問う。 (1) 団員数の現状と充足率は。 (2) 学生消防団員の人数は。 (3) 地元の消防団の方に意識調査に協力していただいた。その結果を踏まえて問う。 ① 7月7日に開催された亀岡市消防操法大会	市長 所管部長

			では、猛烈な暑さの中、開会式で体調不良を訴えた団員もいたが、大会の開催に適した時期と考えているのか。 ②消防団活動の負担を軽減するため、行事を簡略化し、出初式と入退団式を合同開催してはどうか。 ③ポンプ操法の在り方を見直す必要があるとの回答も多い。本市も消防操法を規律重視から実践重視に切り替えてはいるが、操法訓練を消火技術の向上を目的とした「講習会」に切り替え、火災への対応能力向上を目指してはどうか。 ④表彰時は賞状やバッジではなく商品券を授与してはどうか。 (4) 新入団員確保のため、自治会や自主防災会との連携、役割の見直しなどを行い、消防団の負担を軽減してはどうか。 (5) 消防団の処遇を改善する考えは。 (6) 「けしさぼ」の認知度向上と対象店舗の拡充を行う考えは。 (7) 篠分団で所有するポンプ車（20年使用）が更新時期を迎えることについての考えは。	
		2 公共交通について	福祉目線から公共交通について問う。 (1) 健康福祉部とまちづくり推進部の庁内連携の現状は。 (2) 地域主体型交通を行うための課題は。 (3) 移動支援サービス専用自動車保険の概要は。 (4) 移動支援を支える基金を設立する考えは。	市長 所管部長
		3 ヤングケアラーについて	ヤングケアラーは、環境市民厚生常任委員会において、多くの機会で取り上げられているが、ヤングケアラーに密接に関係する、こども未来部、健康福祉部、教育部局との連携について問う。 (1) 現状の取組として、どのようなことを行っているのか。 (2) 円滑に庁内連携できているのか。 (3) 庁内連携を行うにあたっての課題は。 (4) どのような相談支援を行っているのか。 (5) 夜間はどのような相談支援体制なのか。	市長 教育長 所管部長
20	小林 仁 9月13日(金) 13:00~ ※一問一答	1 GIGAスクール教育について	学校教育の現場では、GIGAスクール構想により、子どもたちはより創造的で主体的な学びを経験できる環境が整いつつある。本市において、このすばらしい構想がどのように進んでいるかを問う。 (1) Society 5.0時代を生き抜かなければならない現在の子どもたちには、GIGAスクールが必要と認識している。本市のGIGAスクールのコンセプトは。 (2) GIGAスクールの活用について、ハードウェアの環境は整ったが、本市における利活	市長 教育長 所管部長

			用頻度はどれくらいか、また、今後の計画は。 (3) G I G A スクールの環境整備には産官学の連携が必要であるが、本市での状況は。 (4) 学びの材料（ソフトウェア）の選択肢が多いほうが、児童生徒個人に適した学びの環境づくりと教員の働き方改革になると考えるが所見は。 (5) I C T 支援員の業務はどのような内容か。 (6) 次代の教育として、探究型学習を本市でも取り入れているが、I C T 教育とどのように融合しているのか。 (7) 実施された G I G A スクールを評価し、成果と課題を共有化することが大切と考えるが所見は。	
		2 不登校対策について	学校の役割は、民主主義を担う主権者を育成するための基礎・規律を習得させることにあるが、学校に行きにくい児童生徒のための対策について問う。 (1) 不登校児童生徒の居場所、学びの場の確保、並びに学びの場の選択肢について本市の対策は。 (2) 不登校になる前に児童生徒が発する S O S を見逃さないのが早期対応・早期支援につながるが、本市の対応は。 (3) 不登校支援には相談体制の充実が欠かせないが、教育委員会、学校、民間団体が連携した、多様な相談窓口について所見は。 (4) 保護者支援として、保護者向けの講演会や研修会を開催し、情報提供や相互支援が出来ないか。	市長 教育長 所管部長
		3 障がい者（児）支援体制について	発達障がいに対する社会的な理解が進み、行政に対して相談や支援を求める声が大きくなる中であって、支援体制の充実について問う。 (1) 障がい者（児）の早期支援体制は重要である。敷居の低い相談窓口が必要であるが、本市の現状はどうか。 (2) 子育て相談から子育て支援、そして発達支援へとつなぐ、幼少期から成人期まで一貫性のある、ライフステージに応じた継続的な支援体制が求められているが、所見は。 (3) 本市の医療機関、保育所・こども園、学校、地域団体との連携についての所見は。 (4) 障がい児のインクルーシブ教育の推進に向けた本市の取組は。	市長 教育長 所管部長
		4 亀岡市のシンボル草花について	市のシンボルについて問う。 (1) 亀岡市の木「さくら」、花「つつじ」、魚「アユモドキ」、石「桜石」とあるが、全国都市緑化フェア i n 京都丹波に向け、市の「草花」について新たに選定し、緑化フェアに添えればと考えるが所見は。	市長 所管部長

		5 有害鳥獣対策について	有害鳥獣被害は農家の悩みの種であり、申告していない被害も多い。対策について問う。 (1) 小型有害鳥獣の捕獲用檻は、市より借用が可能であるが、全て貸出中のことが多く、順番待ちの状態である。個人購入の檻により捕獲した有害鳥獣の処理は市では不可とされているが、何か対策はないのか。 (2) ハクビシンは特定外来生物の指定ではないため、駆除対象の動物になっていないが、被害も多い。何か対策はないのか。 (3) 有害鳥獣で代表される鹿、猪に加え、最近ではサルの被害も多く、何か対策はないのか。 (4) 令和5年6月議会で、有害鳥獣被害の未然対策費用の交付について、府へ要望するとともに、地域に合った支援をするとのことであったが、進展しているのか。	市長 所管部長
21	大石 慶明 9月13日(金) 13:45～ ※一問一答	1 森林環境譲与税について 2 ヤングケアラーの支援について	森林環境譲与税は令和元年度より交付されており、令和6年度からは森林環境税が導入され、森林環境譲与税の財源が確保された。そこで当市に交付される森林環境譲与税の活用方法について問う。 (1) 令和元年度からの森林環境譲与税の交付金額の推移は。 (2) 令和元年度からの森林環境譲与税の活用方法及び活用額の推移は。 (3) 森林環境譲与税の活用に係る課題はあるのか。 (4) 森林環境税の導入により森林環境譲与税も増額される見込みであるが、本市の状況について問う。 ①今年度の森林環境譲与税の交付予定額は。 ②今後における有効活用に向けた取組の考え方は。 ヤングケアラー支援の取組について先般、行政報告を受けたところである。今後、取組を一層推進するためにも、教育部局との関わりが重要だと考える。 (1) 学校関係者に対するヤングケアラー支援の取組について問う。 ①中学校関係者への具体的な周知・徹底状況は。 ②小学校関係者への具体的な周知・徹底状況は。 (2) 学校関係者からヤングケアラーコーディネーター等への情報提供・相談等を実施した件数及び内容は。 (3) 学校関係者がヤングケアラーコーディネーターと連携及び共同でヤングケアラー対象者へ支援した事例はあるのか。	市長 所管部長 市長 教育長 所管部長

		3 ジャンボタニシ対策について 4 地域のインフラ整備について	(4) 国は「子ども・子育て支援法等の一部を改正する法律」の一部施行について(ヤングケアラー関係)の通知文書で、支援の対象年齢を、概ね30歳未満の若者を中心としているが、施策内容により概ね40歳未満も対象としている。これにより今後は18歳未満に加え、対象者の増加が見込まれる。 ①本市として支援対象者を拡大する考えは。 ②今後における支援の在り方についての考えは。 地球温暖化が著しく進む中、今年の夏も連日酷暑により熱中症が多発している。また農作物も被害を受けている。特に稲作に関してジャンボタニシの被害が増加していると聞く。そこでジャンボタニシの対策について問う。 (1) 被害状況について把握しているのか。 (2) 被害状況の傾向はどのようになっているのか。また、その要因について分析しているのか。 (3) 被害減少に向けた取組状況は。 (4) 他市では被害を受けた農業関係者に対して補助金等を交付しているが、本市の支援状況は。 菟田野町地域におけるインフラ整備の進捗状況について問う。 (1) 国営緊急農地再編整備事業亀岡中部地区の佐伯工区の整備事業に併せ、菟川の河川整備に取り組んでいただいている。 ①現在の進捗状況は。 ②今後の取組状況と完成目標年は。 ③早期完成に向けて京都府への要望状況は。 (2) 平成24年に起きた篠町での登校時の交通事故を契機に、菟田野町の通学路点検結果から市道湯ノ花温泉線の通学路整備がスタートしたと記憶している。あれから12年が経過したが、いまだに完成していない。 ①現在の進捗状況は。 ②早期完成に向けた阻害要因は。 ③今後の取組状況と完成目標年は。	市長 所管部長 市長 所管部長
22	松山 雅行 9月13日(金) 14:45~ ※一問一答	1 JR千代川駅周辺整備について	JR千代川駅では、亀岡市バリアフリー基本構想(千代川駅周辺地区)において、快適な生活を支えるまちづくりのために鋭意取組を進めている。また、東西を結ぶ自由通路の実施設計も行われており、駅を基軸とした今後のまちづくりを期待する声大きい。駅周辺のにぎわい創出と公共施設としての役割について問う。 (1) 本市は駅を基軸としてどのようなまちづくりビジョンを考えているのか。 (2) 駅周辺に市民が柔軟に活用し、集える場所を整備・提供することで、にぎわいを創出で	市長 所管部長

			きると考えるが所見は。 (3) J R 千代川駅に市立図書館の図書返却ボックスを設置する考えは。	
		2 避難所整備について	本市の指定緊急避難場所・指定避難所は有事の際に市民にとって必要不可欠であり、誰もが安心して避難でき、生活環境を整える必要があると考える。昨今の気候変動による暑さ寒さ対策をはじめ、避難者の命の危険を回避するための取組について問う。 (1) 指定緊急避難場所と指定避難所の数は。 (2) (1) のうち、エアコンが整備されている施設数は。 (3) 暑さ寒さ対策でそれぞれの避難者管理をする上での留意点は。 (4) 避難者の命を守るために、避難施設のエアコン設置が必要と考えるが所見は。	市長 所管部長
		3 有事の際の道路確保について	積雪や豪雨により、京都縦貫自動車道や国道9号で安全確保のため通行止め措置がされ、公共交通機関も運休・運転見合わせが発生した場合、亀岡への帰宅困難者が現われることがある。 (1) やむを得ず通行しなければならない状況にある帰宅困難者が、特例で沓掛インターチェンジから篠インターチェンジまでの区間を通行可能にするために事業者と協議をしたのか。 (2) 一般社団法人京都府バス協会などの交通事業者と対応可能な範囲でバスによる人員輸送支援に関する協定を締結することについて所見は。	市長 所管部長
		4 街路樹・公園樹の管理について	本市では、現在5,000本以上の街路樹・公園樹を整備・管理しており、植樹から長い年月が経過しているものが多くなってきている中で、令和5年12月議会で街路樹・公園樹における中長期的な管理指針を定めると答弁があったが、現状の取組について問う。 (1) 指針策定の進捗は。 (2) 管理指針の要件設定はどのようなものか。	市長 所管部長
		5 宅地開発による私道残存について	都市計画法に基づく開発許可対象外の開発や規制の網にかからない時に開発された区域が、本市では東別院町や西別院町、畑野町などに約30か所ある。現状、本市では認定外道路整備事業補助金制度を準備し地元負担の軽減に努めている。こういった私道の所有者の特定などは非常に難しい状況であるとの自治体でもお聞きするが、本市の考えについて問う。 (1) 都市計画区域外のエリアであったとしても、今後、住民を主軸としたまちづくりをする上で、私道地権者の把握及び使用許可を事前にいただくなど、中期的な目線で整理して	市長 所管部長

			はどうかと考えるが所見は。	
--	--	--	---------------	--